

第38回庄内ふるさと祭りを開催しました

◎**バザー**（11月4日、庄内小体育館）4年ぶりにもかかわらず多くの方に品物のご提供や、お買い上げ頂きありがとうございました。2,655点を出品し、281,215円の売上げがありました。

◎**展示会**（11月4日～11月5日、庄内地区体育館）24団体9個人から多くの作品を出してもらいました。保育園・幼稚園の楽しい作品や、各小中学校の書道や絵画、一般の方の力作など見応えがありました。入場者は916名でした。

◎**ステージイベント**（11月5日、庄内小体育館）は午前・午後とも多くの来場者がありました。午前は庄内中吹奏楽のオープニング演奏で始まり、地区の保育園・幼稚園の発表や、各小学校の伝統芸能継承活動による民俗芸能の発表がありました。午後は南洲太鼓、今屋大太鼓踊り、町区相撲甚句などの民俗芸能やフラメンコ、皿回しなど久しぶりの熱演を楽しみました。最後に司会をして頂いた北田恵美さんの歌謡ショーの後、お楽しみ抽選会で盛り上がりました。

庄内中学校1年生の地域巡見学習を行いました

庄内中学校1年生（73名）を対象にした地域巡見学習を11月17日（金）午後開催しました。教育文化活動部会（花原恵子部会長）が主催し、今年で13年目になります。自分たちの住む庄内には、たくさんの歴史と文化があることに気づき、郷土に愛着と誇りを持ってくれることを期待して実施しているものです。

バス4台に分乗し地区内の史跡を回りました。ガイドは都城島津邸の山下真一館長（庄内中出身）、「庄内の昔を語る会」（朝倉事務局長）と関之尾むかえびとの会（花原さん、佐々原さん）をお願いしました。見学先は平田かくれ念仏洞跡、乙房神社（田のかんさあ）、宮島中央権現、諏訪神社、山久院跡、三島通庸遺徳の碑、安永城跡、願心寺です。

お礼の感想文によると心に残った場所は願心寺、乙房神社田のかんさあ、平田かくれ念仏洞跡、諏訪神社、山久院跡の順でした。



第29回庄内川一周YOU遊駅伝大会を実施しました

令和5年12月3日（日）開催。朝は氷点下まで気温が下がりましたが快晴に恵まれ、自治公民館9チームとオープンの部に4チーム計13チームが出場し、熱戦を繰り広げました。沿道からのご声援ありがとうございました。結果は以下の通りです。

◎タイムレースの部

優勝	東区	1時間05分00秒
準優勝	乙房	1時間05分55秒
3位	平田	1時間06分37秒

◎区間賞 ●は区間新

1区●古小路真美（西区）	7区●清水晃佑（東区）
2区 清水聡太（東区）	8区 大村太紋（川崎）
3区 丸岡皇輝（平田）	9区 広瀬裕大（乙房）
4区 上水流拓斗（西区）	10区 谷口りな（乙房）
5区 大下和音（乙房）	11区 刀坂旺史郎（乙房）
6区 高瀬心彩（千草）	

◎**応援賞**：今屋自治公民館



庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町12692-2 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <https://www.bonchi.jp/shonai/>

みんなで作る 住みよいまち 庄内

庄内地区まちづくり協議会だより



令和6年1月発行 VOL.28

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。海外ではロシアとウクライナの戦争やイスラエル対ハマスの紛争、中国の経済的混乱、それに国内では年末から始まった自民党政治の混乱など心配事が絶えませんが、皆様どのような新年をお迎えになられたでしょうか。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、昨年5月8日に感染症法上の位置づけが「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行されました。このような状況を受けて、まちづくり協議会では住民参加の三大イベントの実施を計画しました。

残念ながら第24回庄内地区スポ・レク大会は降雨のため中止になりましたが、第38回庄内ふるさと祭り・第29回庄内川一周YOU遊駅伝大会は4年ぶりに実施出来ました。庄内ふるさと祭りは、開催を休止していた3年間の間に、ステージ組み立てを担当して頂いていた建築業協会庄内・西岳支部が解散しましたので、従来のステージ発表を庄内小体育館で、作品展示を庄内地区体育館で実施しました。



ステージ発表の内容も例年行っていた公民館対抗歌合戦から、今回は原点に戻り各自治公民館に伝わる民俗芸能を中心にプログラムを組みました。観客席はイスにしましたので多くの方に楽しんで頂いたようです。準備・片付けも実行委員の協力でスムーズにできました。バザーはボランティア連絡協議会が解散してしまっていたので、自治公民館長を中心にバザー実行委員会を組織し実施しましたところ、皆様のご協力で多くの品物が集まり大盛況でした。

駅伝大会はやはり久しぶりの実施ということで、選手集めなど苦労しましたが自治公民館チーム9チーム（関之尾は辞退）、オープン参加4チームの13チームが出場しました。朝は氷点下まで気温が下がりましたが、快晴に恵まれ精一杯たすきをつなぎ、沿道からの応援にも力が入りました。

今年で13回目となる庄内中学校1年生の地域巡見学習も無事実施できました。生徒たちは事前学習で史跡や歴史などを調べており、ガイドの方の説明を熱心に聞いてくれました。お礼の手紙では庄内の良さを再発見し、あらためてふるさとの良さを心に刻んでくれたようで大変うれしく思いました。

また、第5回庄内地区防災訓練は11月19日（日）実施しました。地区内自治公民館10館（1,956世帯、4,874名）が「震度6弱」の地震が発生したとの想定で、安否確認・避難訓練などに取り組みました。災害時に自力での避難が難しい方（避難行動要支援者）102名の安否確認は、各自治公民館長と民生児童委員が協力して行い、全員の確認ができました。都城市消防団庄内分団（8部）も防災訓練の告知や安否確認に協力して頂きました。

今年度防災対策環境整備事業（都城市地域活性化事業）で購入した無線機（トランシーバー）も活用出来ました。この事業では、バール等救助用資機材や救急医療用セット、ヘルメット、ヘッドランプなどを整備しました。また各自治公民館では、昨年からの取り組んでいる地域防災力向上事業により、NPO法人宮崎県防災士ネットワークの防災士さんと各自治公民館が協働し、館内危険個所のマップづくりなどに取り組んでいます。

年始の時期に当たり、新型コロナウイルスやインフルエンザなど油断ができませんが、体調管理に気を付け、今年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようお祈り申し上げます。

令和6年元旦

庄内地区まちづくり協議会 会長 徳留 次男

菓子野小学校4年生の校外学習を実施しました

6月6日(火)教育文化活動部会(花原恵子部会長)が主催して菓子野小学校4年生(14名、日高由紀子先生)の校外学習を実施しました。8時30分ごろマイクロバスで学校を出発し庄内地区公民館に向かいました。あいにくの雨でしたので三原叢五(そうご)先生のお墓の訪問はあきらめました。三原先生のことについては公民館で説明しました。

三原先生は三島通庸が創立した学校の初代の校長として、明治3年に鹿児島から招かれました。今の小学校の南側で5歳から15歳の子どもたちの教育に当たられました。明治5年には学制が公布され、庄内小学校の初代校長となりました。ところが明治10年西南戦争が勃発し、先生は西郷軍に従軍されます。戦争が終わりしばらくしてひょっこり庄内に帰って来られましたが、すでに庄内小学校には新しい校長が赴任していました。村議会では菓子野に分教場を作りそこで教鞭をとってもらうことにしました。分教場は現在の菓子野公民館のところだったそうです。先生は68歳で亡くなりました。亡くなられた日は明治34年6月18日、今年で122年目になります。



次に「関之尾むかえびとの会」の皆さんにより関之尾を水源とする3本の用水路(南前用水路、北前用水路、前田用水路)の説明や、坂元源兵衛の紙芝居「坂元源兵衛物語」を見てもらいました。

その後山田町の都城市クリーンセンターに移動し約1時間30分説明と見学を行いました。センターの職員の方の説明やビデオで理解が深まったようでした。質問もたくさんしていました。施設の見学ではゴミの搬入やクレーン作業を飽きることなく見ていました。

庄内地区小中学校教職員の校区内巡見研修

8月2日(水)に庄内地区まちづくり協議会が主催し庄内小、乙房小、菓子野小、庄内中教職員など19名を対象に、地区内の史跡・寺社などを巡る研修会を開催しました。昨年度はコロナ感染症拡大により実施できませんでしたので、多くの先生方の参加希望がありましたが、昨年度異動で来られた先生方に限らせていただきました。

9時に庄内小学校に集合し、都城島津邸の学芸員松田佳奈さんにガイドをお願いし、お軍神の三島通庸遺徳の碑や、三原叢五顕彰碑、その他の記念碑についての説明がありました。次に釣こう院跡に徒歩で移動、都城島津家の墓石群の説明がありました。

今年度は関之尾公園がリニューアル工事で入れないため、地区公民館でみやこんじょPR課によりリニューアル計画の説明を聞きました。その後マイクロバスで移動し平田かくれ念仏洞跡を見学、都城島津家初代領主本郷資忠が創建したと伝わる諏訪神社、資忠夫妻の菩提寺であった山久院跡、豊幡神社と回りました。

最後に願心寺に移動、書院の見学では大河内住職のお話がありました。本堂ではビデオにより願心寺の成り立ちや説明を鑑賞し、大河内副住職より詳しいお話を聞くことができました。

平成30年に国の登録有形文化財となった旧持永家住宅門及び石塀を車窓から見ながら12時前に庄内小に到着解散しました。お天気が心配でしたが研修の間は降りませんでした。

写真は山久院跡で説明をしているところです。



令和5年度庄内地区総合研修会を開催しました

8月27日(日)鹿児島大学共通教育センター准教授の井村隆介先生をお呼びし、「風景から地球の歴史をひもとく」の演題で講演をしていただきました。

井村先生の専門は地質学。大学で地形学・災害地質学などを教えながら、人間の時間・空間スケールで見た地震と噴火現象の研究、自然災害で死なないための研究を続けておられます。現在、国交省緊急災害派遣ドクター(TEC-DOCTOR)、屋久島世界遺産地域科学委員会委員、鹿児島県土地利用審査会委員、鹿児島県土砂災害アドバイザー、鹿児島市防災アドバイザー、霧島ジオパーク連絡協議会顧問などを務めておられ、テレビ等で見たことがある方も多いと思います。

今回は「庄内・関之尾をもっと知る講座」の第1回目を兼ねて行いました。関之尾滝の成り立ちなどにも触れて頂きました。滝の部分は約34万年前加久藤火砕流によってできているが、右岸の部分は約3万年前の入戸火砕流でできたということ井村先生が論文発表されたそうです。2010年の大豪雨の時右岸の部分が崩落しましたが、その結果このようなことが分かったというお話しにはびっくりしました。

また、国の天然記念物に指定されている甌穴群は関之尾滝だけではなく、霧島市台明寺甌穴、霧島市真米甌穴、小林市ままこ滝、錦江町神川大滝、豊後大野市原尻の滝など多くの場所で見ることができそうです。

この地域に多いシラス台地が、約3万年前の始良カルデラの噴火で出た火砕流によってできたこと、しかも一晩で数十メートルもの高さに堆積したことなど、興味深いお話で1時間半があっという間でした。



乙房小学校4年生の校外学習を支援しました

9月20日(水)教育文化活動部会(花原恵子部会長)が主催して、乙房小学校4年生(35名、遠西一子先生)の校外学習を実施しました。マイクロバス2台に分乗し学校を出発、庄内地区公民館に移動し、「関之尾むかえびとの会」の佐々原さんが、関之尾滝を水源とする3本の用水路(南前用水路、北前用水路、前田用水路)の説明をしました。その後、前田用水路の開発に尽力した坂元源兵衛の紙芝居「坂元源兵衛物語」を見てもらいました。

その後9時40分頃公民館を出発、山田町の都城市クリーンセンターに移動し約1時間30分説明と見学を行いました。センターの職員の方が詳しく説明してくださいました。児童たちは1学期に学校で勉強していたらしく、職員さんのクイズにも的確に答えていました。クレーン作業の見学など興味深く見ていました。



写真はクリーンセンター

庄内地区壮年団体連絡会懇談会を開催しました

10月8日(日)4年ぶりに庄内地区壮年団体連絡会の懇談会を18:00より今屋自治公民館で開催しました。庄内地区壮年団体連絡会は平成27年の準備会を経て、平成28年度発足しました。代表幹事は持ち回りで担当することとし、令和元年度は東区壮年会の内村謙次さんでしたが、今年度は今屋壮年会の田村周一さんが務めます。

当日は壮年会の皆様(10壮年会)と各自治公民館長や副館長、まち協役員、市民センター長、地区公民館長計41名が参加し、大いに盛り上がりました。

各壮年会の全員の自己紹介もあり、活動内容の報告や課題などの話がありました。多くの壮年会で会員減少が課題となっていますが、中には会員を増やしているところもあり、参考になりました。会員数を足すと220名となりました。地域にとって壮年会はなくてはならない存在ですので、今後の活動に期待します。